

講演会名 にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会主催
新潟大学歯学部 共催
—摂食・嚥下障害の研究最前線—

日 時 12月2日（金） 午後6時30分から午後8時30分

場 所 新潟大学歯学部講堂

講 師 松尾浩一郎先生（松本歯科大学）
 中村 由紀先生（新潟大学）
 堀 一浩先生（新潟大学）

概 要

本講演会では、臨床への足掛かりを求めた基礎研究のテーマをもとに、3名の先生が講演された。

松本歯科大学の松尾先生からは、ジョンズホプキンス大学や松本歯科大学で記録されたヒトの嚥下造影検査のデータをもとに、呼吸と嚥下のタイミングとの協調やその加齢・病態変化、咀嚼時の食塊動態と呼吸、軟口蓋の動きの協調などを、動画を交えて分かりやすく解説いただいた。続いて、中村先生からは、咽頭への微量刺激が随意嚥下に及ぼす効果とその個人差に関する研究、堀先生からは咀嚼・嚥下に関連した舌機能を簡便に評価するための舌圧計や臨床事例への適用についての話があった。

講演後は参加者を交えて活発な質疑応答があり、食塊移送に対する姿勢や物性の影響について、気切管理の患者の嚥下と呼吸動態のタイミングについての評価法、舌運動と呼吸運動の中枢制御の相互作用などについて、活発な討論がなされた。事後アンケートの結果も好評であった。

講演会後には、別室にて研究会の会員企業の展示があり、多くの参加者が見学をされた。

なお、本講演会の参加者（当科スタッフ別）は90名であった。

※別紙にアンケート結果を掲載

参加者によるアンケート結果（有効回答数 57）

1. 性別
男性 38% 女性 62%
2. 年齢
20 歳以下 0% 21～40 歳 69% 41～60 歳 31% 60 歳～0%
3. 職業
会社員・公務員 3% 医師 3% 歯科医師 15% 看護師 5%
言語聴覚士 44% 作業療法士 3% 歯科衛生士 7% 学生 2%
理学療法士 5% その他 13%
4. 今回の講演会はいかがでしたか
大変よかった 54% よかった 42% 普通 4% あまりよくなかった
またはよくなかった 0%
5. またこのような講演会に出席したいと思いますか
是非出席したい 65% 都合がつけば出席したい 35%

6. 自由記載

嚥下評価の際の見方が変わるような講演でした。参加して良かったです。

臨床役立つものばかりで、大変ありがたかったです。

とても勉強になりました。今後の臨床に生かしていきたいと思います。

松尾先生の呼吸と嚥下の関係についてのお話は、今後の臨床の中で考えさせられる機会を与えてくださりました。とても奥深い話でした。

どの発表も大変興味深いものでした。嚥下のタイミングは何を持って実行しているのでしょうか。

とてもためになる研究発表でした。また絵画あればぜひ出席していきたいと思います。

四つん這いの研究をされた松尾先生の話が聞けて良かったです。

脳卒中、脊髄損傷、廃用の人などそれぞれ原因疾患ごとの嚥下機能病態についての講演を聞きたい。

個人的には現場で疑問に思っていることをもっと質問したかった。松尾先生のおっしゃっていたプロセスモデルが早く現場の Dr や ST に知れ渡って欲しいと感じました。

興味深いお話を聞くことができ大変勉強になりました。

最先端の研究が聞けて良かったです。

嚥下障害の方と多くかかわっていますので、今回勉強させていただいたことを生かせたらと思います。

来年度のように土曜日の開催は時間に余裕があり助かります。

講演会風景

